

試験

一

般

段級

世の人の見付けぬ花や
軒の栗
等窮(とうきゆう)が宅を出て五里ばかり。
櫛皮(ひわだ)の宿を
離れて安積山(やすかさん)あり。路(みち)より近(ちか)し。
【奥の細道】
栗の花は地味であまり世間の人々に注目されないものだ。そんな栗の木陰で隠遁生活をしている主人の人柄をもあらわしているようだ。おもむき深い。等窮の家を出て五里ほど進み、櫛肌の宿を離れたところにあさか山(安積山)が道のすぐそばにある。

栗の花は地味であまり世間の人々に注目されないものだ。そんな栗の木陰で隠遁生活をしている主人の人柄をもあらわしているようだ。おもむき深い。等窮の家を出て五里ほど進み、櫛肌の宿を離れたところにあさか山(安積山)が道のすぐそばにある。



書道總研